

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども療育ステーションここふわ 真志喜		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 2月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	モニタリングや送迎時の申し送りにて、ご家庭での困り感などを聞き取り支援内容に反映させていただいています。プログラムの内容によっては本来の利用日ではない利用者にも声をかけ個々にあった活動の提供や参加ができるように心がけています。	職員間、保護者の方とより連携できるように様々な方法でコミュニケーションをとっていきます。利用児童、ご家族の不安や、困り感を相談しやすい体制を強化していきたいと思っています。
2	プログラムが固定化されないように工夫しているか	ご本人、保護者様からの要望を聞きながら必要に応じた「出来ること」を増やしていきます。 「出来た」を増やして本人の自信を身につけ、自己肯定感を高めていけるよう支援を行います	プログラム以外でも必要に応じて支援の内容を色々試しながら、適切な方法とアプローチで子どもたちの成長をサポートしていきます。
3	こどもは安心感をもって通所していますか。	第二のおうち、居心地がいい場所として子供たちが過ごせるように一人一人と距離感を意識しながら対応しています。また、子どもたちの特性に合わせた関わり方を日々考えながら職員がそれぞれの役割を意識して支援しています。	子どもたちにとっても何か困ったことがあればすぐに相談できる人たちがいる、毎回楽しく通うことができる、そういった施設作りを目指してニーズに沿った支援内容を考案して常に新しく、成長に合ったサポートを行っていききたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	プログラムとしてペアレントトレーニングは実施していない為、ご家族が相談しやすい環境づくりに努めているが、困り感の聞き取りはまだまだ不十分に感じることもある	当事業所での取り組みが難しい場合は、研修や関係機関などの情報を共有していきます。職員間でもペアトレの知識と理解を高めて資質向上を目指します。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	それぞれのマニュアルの作成、月に1回程度様々な状況を考えて訓練を行っており支援記録に記載したり申し送りなどで共有していますが、どちらもご家族皆様への周知徹底には至っていないと思います。	必要なことがきちんと伝わるように情報発信のやり方を見直していきます。お知らせを作成したり、事業所での取り組み内容を具体的にお知らせする工夫を行っていきます
3	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	利用者(ご家族)それぞれのニーズが様々であり関係機関との連携方法に関しての情報収集が不足している為、こういった形で交流をとることが必要かの具体的案がなかなか見つからない現状です。	ご要望に合わせて近隣の施設や園、地域の方々と楽しみながら関われる機会を検討していきます。その他関係機関との関わり幅も広げていくために、参加の場には積極的に関わっていききたいと思っています。